

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名: アスクル ボールペン 黒(インク)
 会社名: アスクル株式会社
 住所: 東京都江東区豊洲 3-2-3
 担当部門: マーチャンダイジング本部 品質マネジメント統括部
 電話番号: 0120-345-861

2. 危険有害性の要約

インクに関する情報を記載しております

【GHS分類】

| | |
|----------------------|------------|
| 物理化学的危険性: | 分類基準に該当しない |
| 健康に対する危険性 | |
| 急性毒性(経口): | 区分外 |
| 急性毒性(経皮): | 区分外 |
| 急性毒性(吸入・蒸気): | 分類できない |
| 皮膚腐食性/刺激性: | 区分 3 |
| 眼に対する重篤な 損傷性/刺激性: | 区分 2 |
| 呼吸器感受性: | 分類できない |
| 皮膚感受性: | 分類できない |
| 生殖細胞変異原性: | 分類できない |
| 発がん性: | 分類できない |
| 生殖毒性: | 分類できない |
| 特定標的臓器/全身毒性(単回暴露): | 分類できない |
| 特定標的臓器/全身毒性(反復暴露): | 分類できない |
| 吸引性呼吸器有害性: | 分類できない |
| 環境に対する危険性 | |
| 水性環境有害性(急性): | 分類できない |
| 水性環境有害性(慢性): | 分類できない |

【GHSラベル要素】

絵表示:



| | |
|----------|------------------|
| 注意喚起語: | 警告 |
| 危険有害性情報: | 軽度の皮膚刺激 強い眼刺激 |

注意書き

応急処置:

| | |
|-------------|---|
| 眼に入った場合: | 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること |
| 皮膚刺激が生じた場合: | 医師の診断/手当てを受けること |
| 眼の刺激が続く場合: | 医師の診断/手当てを受けること |

作成日: 2019年 5月 29日
 改訂日: -年 -月 -日
 確認日: 2020年 8月 1日

3. 組成及び成分情報

単一化合物・混合物の区別: 混合物
 化学特性に関する情報: 構成部品/インク

| 化学名 | CAS No. | 官報公示整理番号 (化審法・労安法) | 濃度範囲(重量%) |
|-----------|----------|-----------------------|-----------|
| フェニルグリコール | 122-99-6 | 3-558 | 30-50 |
| 着色剤 | 非開示 | 既存化学物質 | 30-50 |
| 樹脂 | 非開示 | 既存化学物質 | 10-30 |
| ベンジルアルコール | 100-51-6 | 3-1011 | <10 |
| 添加剤 | 非開示 | 既存化学物質 | <10 |

4. 応急措置

眼に入った場合: 直ちに大量の水で少なくとも15分以上洗浄する
 コンタクトレンズを使用している場合は可能ならば外すこと
 洗浄後、直ちに医師の診察を受ける

皮膚に付着した場合: 付着部を洗浄する
 症状が気になる場合は医師の診察を受ける
 汚れた衣類等は再使用前に洗浄・乾燥する

飲み込んだ場合: 特に健康被害は予測されないが、口の中を水でよく洗浄する
 異常を感じた場合はコップ2~3杯の水または牛乳を飲み、様子を見る
 症状が気になる場合はこのSDSを呈示して医師の診断を受ける

吸入した場合: 低揮発性インクなので、通常の温度での健康被害は予測されない
 万が一、気分が悪くなった場合には新鮮な空気のところへ移し安静にする
 必要に応じて、医師の診断を受ける

5. 火災時の措置

適切な消火剤: 粉末、二酸化炭素、水噴霧、泡

消火方法: 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を用いて消火する

消火を行う者の保護: 消火作業の際は風上から行い、発生する蒸気を吸入しないこと
 適切な保護具を着用する

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項: 漏出した場所にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する
 作業の際には適切な保護具を着用する
 風下で作業しない

環境に対する注意事項: 土砂等で流出を止め、安全な場所に導いた後、空容器に回収する
 河川への流出等、環境への影響を起こさないように注意する

除去方法: 紙、ウエス等の吸収性物質で拭い取る
 回収物は国や地方自治体の規制に従い廃棄する

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い: インクを舐めたり、飲み込んだりしないこと
 皮膚や眼との接触を避けること
 キャップのある製品は使用後に必ずキャップをし、乳幼児の手の届かないところに保管すること
 製品を振らないこと

保管: 酸化剤、全ての引火源及び発火源、高温、直射日光を避けること
 推奨温度: 0-40℃

作成日: 2019年 5月 29日
 改訂日: -年 -月 -日
 確認日: 2020年 8月 1日

8. ばく露防止及び保護措置

暴露防止

| | |
|-------------|-----------|
| 設備対策: | 特に必要とされない |
| 呼吸器の保護具: | 特に必要とされない |
| 手の保護具: | 特に必要とされない |
| 眼の保護具: | 特に必要とされない |
| 皮膚及び身体の保護具: | 特に必要とされない |

9. 物理的及び化学的性質

[]内に記載している情報は、含有成分の情報である

| | |
|--------------|------------------------|
| 外観等・色: | 黒色 |
| 外観等・状態: | 液体 |
| 臭い: | 情報なし |
| pH: | 情報なし |
| 沸点: | 情報なし[ベンジアルコール 205.3°C] |
| 融点: | 情報なし |
| 引火点: | 情報なし[ベンジアルコール 93.0°C] |
| 発火点: | 情報なし[ベンジアルコール 436.0°C] |
| 爆発範囲(下限～上限): | 情報なし |
| 蒸気密度(空気=1): | 情報なし |
| 比重: | 約 1.1 |
| 水への溶解度: | 情報なし |
| 蒸発速度: | 情報なし |
| 揮発成分重量: | >40% |

10. 安定性及び反応性

| | |
|-----------|---------------------------------------|
| 安定性: | 通常の温度、圧力の条件下では安定である |
| 避けるべき条件: | 熱、裸火、火花、引火源及び他の発火源を避ける 直射日光や高温を避ける |
| 漏触危険物質: | 情報なし |
| 有害な分解生成物: | 情報なし |

11. 有害性情報

| | |
|-----------------|-----------------|
| 急性毒性(経口) | |
| 区分外: | >5000mg/kg(推定値) |
| 急性毒性(経皮) | |
| 区分外: | >5000mg/kg(推定値) |
| 急性毒性(吸入・蒸気) | |
| 分類できない | 情報なし |
| 皮膚腐食性/刺激性 | |
| フェニルグリコール: | 区分 3 |
| 眼に対する重篤な損傷性/刺激性 | |
| フェニルグリコール: | 区分 2B |
| 着色剤: | 区分 2B |
| 呼吸器感作性: | 情報なし |
| 皮膚感作性: | 情報なし |
| 生殖細胞変異原性: | 情報なし |
| 発がん性: | 情報なし |
| 生殖毒性: | 情報なし |

作成日: 2019年 5月 29日
改訂日: -年 -月 -日
確認日: 2020年 8月 1日

| | |
|--------------------|------|
| 特定標的臓器/全身毒性(単回暴露): | 情報なし |
| 特定標的臓器/全身毒性(反復暴露): | 情報なし |
| 吸引性呼吸器有害性: | 情報なし |
| 水性環境有害性(急性): | 情報なし |
| 水性環境有害性(慢性): | 情報なし |

12. 環境影響情報

情報なし

13. 廃棄上の注意

廃棄では国及び地方自治体等の規制を遵守すること
 廃液は排水溝等に流出させないこと

14. 輸送上の注意

| | |
|---------------------|---|
| 国内法規制: | 特段の規制はない |
| HSコード | 960860 |
| 輸送上特定の安全対策 及び条件: | 運搬に際しては、容器に漏れのないことを確かめ、転倒・落下・損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること |

15. 適用法令

インクに関する情報を記載しております。

| | |
|----------|--|
| PRTR法: | 該当しない |
| 労働安全衛生法: | 通知対象物質 着色剤(三価クロム化合物) 表示対象物質 着色剤(三価クロム化合物) |
| 毒劇法: | 該当しない |
| 消防法: | 第四類 引火性液体 第三石油類 非水溶性 相当 |

16. その他の情報

- ・ISO規格 ISO 8124-3 Safety of Toys-Part3 “適合”
- ・記載内容は現時点で入手できる資料・データに基づいて作成しており、新しい知見により改正されることがあります。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください
- ・記載内容は情報提供であって、保証するものではありません

作成日: 2019年 5月 29日
 改訂日: -年 -月 -日
 確認日: 2020年 8月 1日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名: アスクル ボールペン 赤(インク)
 会社名: アスクル株式会社
 住所: 東京都江東区豊洲 3-2-3
 担当部門: マーチャンダイジング本部 品質マネジメント統括部
 電話番号: 0120-345-861

2. 危険有害性の要約

インクに関する情報を記載しております

【GHS分類】

| | |
|----------------------|------------|
| 物理化学的危険性: | 分類基準に該当しない |
| 健康に対する危険性 | |
| 急性毒性(経口): | 区分外 |
| 急性毒性(経皮): | 区分外 |
| 急性毒性(吸入・蒸気): | 分類できない |
| 皮膚腐食性/刺激性: | 区分 3 |
| 眼に対する重篤な 損傷性/刺激性: | 区分 2 |
| 呼吸器感受性: | 分類できない |
| 皮膚感受性: | 分類できない |
| 生殖細胞変異原性: | 分類できない |
| 発がん性: | 分類できない |
| 生殖毒性: | 分類できない |
| 特定標的臓器/全身毒性(単回暴露): | 分類できない |
| 特定標的臓器/全身毒性(反復暴露): | 分類できない |
| 吸引性呼吸器有害性: | 分類できない |
| 環境に対する危険性 | |
| 水性環境有害性(急性): | 分類できない |
| 水性環境有害性(慢性): | 分類できない |

【GHSラベル要素】

絵表示:



| | |
|----------|------------------|
| 注意喚起語: | 警告 |
| 危険有害性情報: | 軽度の皮膚刺激 強い眼刺激 |

注意書き

応急処置:

| | |
|-------------|---|
| 眼に入った場合: | 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること |
| 皮膚刺激が生じた場合: | 医師の診断/手当てを受けること |
| 眼の刺激が続く場合: | 医師の診断/手当てを受けること |

作成日: 2019年 5月 29日
 改訂日: -年 -月 -日
 確認日: 2020年 8月 1日

3. 組成及び成分情報

単一化合物・混合物の区別: 混合物
 化学特性に関する情報: 構成部品/インク

| 化学名 | CAS No. | 官報公示整理番号 (化審法・労安法) | 濃度範囲(重量%) |
|-----------|----------|-----------------------|-----------|
| フェニルグリコール | 122-99-6 | 3-558 | 30-50 |
| 樹脂 | 非開示 | 既存化学物質 | 10-30 |
| 着色剤 | 非開示 | 既存化学物質 | 10-30 |
| ベンジルアルコール | 100-51-6 | 3-1011 | <10 |
| 添加剤 | 非開示 | 既存化学物質 | <10 |

4. 応急措置

眼に入った場合: 直ちに大量の水で少なくとも15分以上洗浄する
 コンタクトレンズを使用している場合は可能ならば外すこと
 洗浄後、直ちに医師の診察を受ける

皮膚に付着した場合: 付着部を洗浄する
 症状が気になる場合は医師の診察を受ける
 汚れた衣類等は再使用前に洗浄・乾燥する

飲み込んだ場合: 特に健康被害は予測されないが、口の中を水でよく洗浄する
 異常を感じた場合はコップ2~3杯の水または牛乳を飲み、様子を見る
 症状が気になる場合はこのSDSを呈示して医師の診断を受ける

吸入した場合: 低揮発性インクなので、通常の温度での健康被害は予測されない
 万が一、気分が悪くなった場合には新鮮な空気のところへ移し安静にする
 必要に応じて、医師の診断を受ける

5. 火災時の措置

適切な消火剤: 粉末、二酸化炭素、水噴霧、泡

消火方法: 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を用いて消火する

消火を行う者の保護: 消火作業の際は風上から行き、発生する蒸気を吸入しないこと
 適切な保護具を着用する

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項: 漏出した場所にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する
 作業の際には適切な保護具を着用する
 風下で作業しない

環境に対する注意事項: 土砂等で流出を止め、安全な場所に導いた後、空容器に回収する
 河川への流出等、環境への影響を起ささないように注意する

除去方法: 紙、ウエス等の吸収性物質で拭い取る
 回収物は国や地方自治体の規制に従い廃棄する

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い: インクを舐めたり、飲み込んだりしないこと
 皮膚や眼との接触を避けること
 キャップのある製品は使用後に必ずキャップをし、乳幼児の手の届かないところに保管すること
 製品を振らないこと

保管: 酸化剤、全ての引火源及び発火源、高温、直射日光を避けること
 推奨温度: 0-40℃

作成日: 2019年 5月 29日
 改訂日: -年 -月 -日
 確認日: 2020年 8月 1日

8. ばく露防止及び保護措置

暴露防止

| | |
|-------------|-----------|
| 設備対策: | 特に必要とされない |
| 呼吸器の保護具: | 特に必要とされない |
| 手の保護具: | 特に必要とされない |
| 眼の保護具: | 特に必要とされない |
| 皮膚及び身体の保護具: | 特に必要とされない |

9. 物理的及び化学的性質

[]内に記載している情報は、含有成分の情報である

| | |
|--------------|------------------------|
| 外観等・色: | 赤色 |
| 外観等・状態: | 液体 |
| 臭い: | わずかな臭い |
| pH: | 情報なし |
| 沸点: | 情報なし[ベンジアルコール 205.3°C] |
| 融点: | 情報なし |
| 引火点: | 情報なし[ベンジアルコール 93.0°C] |
| 発火点: | 情報なし[ベンジアルコール 436.0°C] |
| 爆発範囲(下限～上限): | 情報なし |
| 蒸気密度(空気=1): | 情報なし |
| 比重: | 約 1.1 |
| 水への溶解度: | 情報なし |
| 蒸発速度: | 情報なし |
| 揮発成分重量: | >40% |

10. 安定性及び反応性

| | |
|-----------|---------------------------------------|
| 安定性: | 通常の温度、圧力の条件下では安定である |
| 避けるべき条件: | 熱、裸火、火花、引火源及び他の発火源を避ける 直射日光や高温を避ける |
| 漏触危険物質: | 情報なし |
| 有害な分解生成物: | 情報なし |

11. 有害性情報

| | |
|-----------------|-----------------|
| 急性毒性(経口) | |
| 区分外: | >5000mg/kg(推定値) |
| 急性毒性(経皮) | |
| 区分外: | >5000mg/kg(推定値) |
| 急性毒性(吸入・蒸気) | |
| 分類できない | 情報なし |
| 皮膚腐食性/刺激性 | |
| フェニルグリコール: | 区分 3 |
| 眼に対する重篤な損傷性/刺激性 | |
| フェニルグリコール: | 区分 2B |
| 着色剤: | 区分 2B |
| 呼吸器感作性: | 情報なし |
| 皮膚感作性: | 情報なし |
| 生殖細胞変異原性: | 情報なし |
| 発がん性: | 情報なし |
| 生殖毒性: | 情報なし |

作成日: 2019年 5月 29日
改訂日: -年 -月 -日
確認日: 2020年 8月 1日

| | |
|--------------------|------|
| 特定標的臓器/全身毒性(単回暴露): | 情報なし |
| 特定標的臓器/全身毒性(反復暴露): | 情報なし |
| 吸引性呼吸器有害性: | 情報なし |
| 水性環境有害性(急性): | 情報なし |
| 水性環境有害性(慢性): | 情報なし |

12. 環境影響情報

情報なし

13. 廃棄上の注意

廃棄では国及び地方自治体等の規制を遵守すること
 廃液は排水溝等に流出させないこと

14. 輸送上の注意

国内法規制: 特段の規制はない

HSコード 960860

輸送上特定の安全対策

及び条件: 運搬に際しては、容器に漏れのないことを確かめ、転倒・落下・損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること

15. 適用法令

インクに関する情報を記載しております。

PRTR法: 該当しない

労働安全衛生法: 該当しない

毒劇法: 該当しない

消防法: 第四類 引火性液体 第三石油類 非水溶性 相当

16. その他の情報

・ISO規格 ISO 8124-3 Safety of Toys-Part3 “適合”

・記載内容は現時点で入手できる資料・データに基づいて作成しており、新しい知見により改正されることがあります。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください

・記載内容は情報提供であって、保証するものではありません

作成日: 2019年 5月 29日

改訂日: -年 -月 -日

確認日: 2020年 8月 1日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名: アスクル ボールペン 青(インク)
 会社名: アスクル株式会社
 住所: 東京都江東区豊洲 3-2-3
 担当部門: マーチャンダイジング本部 品質マネジメント統括部
 電話番号: 0120-345-861

2. 危険有害性の要約

インクに関する情報を記載しております

【GHS分類】

| | |
|----------------------|------------|
| 物理化学的危険性: | 分類基準に該当しない |
| 健康に対する危険性 | |
| 急性毒性(経口): | 区分外 |
| 急性毒性(経皮): | 区分外 |
| 急性毒性(吸入・蒸気): | 分類できない |
| 皮膚腐食性/刺激性: | 区分 3 |
| 眼に対する重篤な 損傷性/刺激性: | 区分 2 |
| 呼吸器感受性: | 分類できない |
| 皮膚感受性: | 分類できない |
| 生殖細胞変異原性: | 分類できない |
| 発がん性: | 分類できない |
| 生殖毒性: | 分類できない |
| 特定標的臓器/全身毒性(単回暴露): | 分類できない |
| 特定標的臓器/全身毒性(反復暴露): | 分類できない |
| 吸引性呼吸器有害性: | 分類できない |
| 環境に対する危険性 | |
| 水性環境有害性(急性): | 分類できない |
| 水性環境有害性(慢性): | 分類できない |

【GHSラベル要素】

絵表示:



| | |
|----------|------------------|
| 注意喚起語: | 警告 |
| 危険有害性情報: | 軽度の皮膚刺激 強い眼刺激 |

注意書き

応急処置:

| | |
|-------------|---|
| 眼に入った場合: | 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること |
| 皮膚刺激が生じた場合: | 医師の診断/手当てを受けること |
| 眼の刺激が続く場合: | 医師の診断/手当てを受けること |

作成日: 2019年 5月 29日
 改訂日: -年 -月 -日
 確認日: 2020年 8月 1日

3. 組成及び成分情報

単一化合物・混合物の区別: 混合物
 化学特性に関する情報: 構成部品/インク

| 化学名 | CAS No. | 官報公示整理番号 (化審法・労安法) | 濃度範囲(重量%) |
|-----------|----------|-----------------------|-----------|
| フェニルグリコール | 122-99-6 | 3-558 | 30-50 |
| 着色剤 | 非開示 | 既存化学物質 | 30-50 |
| ベンジルアルコール | 100-51-6 | 3-1011 | 10-30 |
| 樹脂 | 非開示 | 既存化学物質 | <10 |
| 添加剤 | 非開示 | 既存化学物質 | <10 |

4. 応急措置

眼に入った場合: 直ちに大量の水で少なくとも15分以上洗浄する
 コンタクトレンズを使用している場合は可能ならば外すこと
 洗浄後、直ちに医師の診察を受ける

皮膚に付着した場合: 付着部を洗浄する
 症状が気になる場合は医師の診察を受ける
 汚れた衣類等は再使用前に洗浄・乾燥する

飲み込んだ場合: 特に健康被害は予測されないが、口の中を水でよく洗浄する
 異常を感じた場合はコップ2~3杯の水または牛乳を飲み、様子を見る
 症状が気になる場合はこのSDSを呈示して医師の診断を受ける

吸入した場合: 低揮発性インクなので、通常の温度での健康被害は予測されない
 万が一、気分が悪くなった場合には新鮮な空気のところへ移し安静にする
 必要に応じて、医師の診断を受ける

5. 火災時の措置

適切な消火剤: 粉末、二酸化炭素、水噴霧、泡

消火方法: 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を用いて消火する

消火を行う者の保護: 消火作業の際は風上から行き、発生する蒸気を吸入しないこと
 適切な保護具を着用する

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項: 漏出した場所にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する
 作業の際には適切な保護具を着用する
 風下で作業しない

環境に対する注意事項: 土砂等で流出を止め、安全な場所に導いた後、空容器に回収する
 河川への流出等、環境への影響を起ささないように注意する

除去方法: 紙、ウエス等の吸収性物質で拭き取る
 回収物は国や地方自治体の規制に従い廃棄する

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い: インクを舐めたり、飲み込んだりしないこと
 皮膚や眼との接触を避けること
 キャップのある製品は使用後に必ずキャップをし、乳幼児の手の届かないところに保管すること
 製品を振らないこと

保管: 酸化剤、全ての引火源及び発火源、高温、直射日光を避けること
 推奨温度: 0-40℃

作成日: 2019年 5月 29日
 改訂日: -年 -月 -日
 確認日: 2020年 8月 1日

8. ばく露防止及び保護措置

暴露防止

| | |
|-------------|-----------|
| 設備対策: | 特に必要とされない |
| 呼吸器の保護具: | 特に必要とされない |
| 手の保護具: | 特に必要とされない |
| 眼の保護具: | 特に必要とされない |
| 皮膚及び身体の保護具: | 特に必要とされない |

9. 物理的及び化学的性質

[]内に記載している情報は、含有成分の情報である

| | |
|--------------|------------------------|
| 外観等・色: | 青色 |
| 外観等・状態: | 液体 |
| 臭い: | 情報なし |
| pH: | 情報なし |
| 沸点: | 情報なし[ベンジアルコール 205.3°C] |
| 融点: | 情報なし |
| 引火点: | 情報なし[ベンジアルコール 93.0°C] |
| 発火点: | 情報なし[ベンジアルコール 436.0°C] |
| 爆発範囲(下限～上限): | 情報なし |
| 蒸気密度(空気=1): | 情報なし |
| 比重: | 約 1.1 |
| 水への溶解度: | 情報なし |
| 蒸発速度: | 情報なし |
| 揮発成分重量: | >50% |

10. 安定性及び反応性

| | |
|-----------|---------------------------------------|
| 安定性: | 通常の温度、圧力の条件下では安定である |
| 避けるべき条件: | 熱、裸火、火花、引火源及び他の発火源を避ける 直射日光や高温を避ける |
| 漏触危険物質: | 情報なし |
| 有害な分解生成物: | 情報なし |

11. 有害性情報

| | |
|--------------------|-----------------|
| 急性毒性(経口) | |
| 区分外: | >5000mg/kg(推定値) |
| 急性毒性(経皮) | |
| 区分外: | >5000mg/kg(推定値) |
| 急性毒性(吸入・蒸気) | |
| 分類できない | 情報なし |
| 皮膚腐食性/刺激性 | |
| フェニルグリコール: | 区分 3 |
| 眼に対する重篤な損傷性/刺激性 | |
| フェニルグリコール: | 区分 2B |
| 呼吸器感作性: | 情報なし |
| 皮膚感作性: | 情報なし |
| 生殖細胞変異原性: | 情報なし |
| 発がん性: | 情報なし |
| 生殖毒性: | 情報なし |
| 特定標的臓器/全身毒性(単回暴露): | 情報なし |

作成日: 2019年 5月 29日
改訂日: -年 -月 -日
確認日: 2020年 8月 1日

特定標的臓器/全身毒性(反復暴露): 情報なし
 吸引性呼吸器有害性: 情報なし
 水性環境有害性(急性): 情報なし
 水性環境有害性(慢性): 情報なし

12. 環境影響情報

情報なし

13. 廃棄上の注意

廃棄では国及び地方自治体等の規制を遵守すること
 廃液は排水溝等に流出させないこと

14. 輸送上の注意

国内法規制: 特段の規制はない
 HSコード 960860
 輸送上特定の安全対策
 及び条件: 運搬に際しては、容器に漏れのないことを確かめ、転倒・落下・損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること

15. 適用法令

インクに関する情報を記載しております。

PRTR法: 該当しない
 労働安全衛生法: 通知対象物質 着色剤(銅及びその化合物)
 表示対象物質 着色剤(銅及びその化合物)
 毒劇法: 該当しない
 消防法: 第四類 引火性液体 第三石油類 非水溶性 相当

16. その他の情報

- ・ISO規格 ISO 8124-3 Safety of Toys-Part3 “適合”
- ・記載内容は現時点で入手できる資料・データに基づいて作成しており、新しい知見により改正されることがあります。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください
- ・記載内容は情報提供であって、保証するものではありません

作成日: 2019年 5月 29日
 改訂日: -年 -月 -日
 確認日: 2020年 8月 1日